

1. 科学を伝える 地球規模課題の解決に向けた科学コミュニケーション活動

地球規模課題の解決に対する意識の醸成に向けた新たな取り組みとして、Geo-Cosmosを活用したコンテンツを一般公募するコンテストを開催するとともに、研究機関や外部機関等と連携した多様な活動に取り組みました。

■外部との協働コンテンツ開発

▶「Geo-Cosmos Content Contest」の開催

「Geo-Cosmos」という球体ディスプレイの新たな可能性や表現方法を切り拓くことを目指し、地球、人、生命、未来の「つながり」をテーマに15秒程度のオリジナルコンテンツを一般公募しました。

公 募 期 間：2014年6月1日(日)～8月18日(月)

本選考階・表彰式：2014年10月23日(木)

一次審査審査委員：阿部信明(株式会社 クオリティ エクスペリエンス デザイン 映像ディレクター)／伊達吉克(株式会社NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー)／辻川幸一郎(グラフィックデザイナー／映像作家)／堀田豪(株式会社ゴーズ 代表取締役)

本審査審査委員長：毛利衛(日本科学未来館 館長)

審 査 委 員：伊東豊雄(建築家)／猪子寿之(チームラボ 代表取締役社長)／インゴ・ギュンター(アーティスト)／ジェフ・ミルズ(DJ／テクノプロデューサー)／白川英樹(ノーベル化学賞受賞者・化学者)／辻川幸一郎(グラフィックデザイナー／映像作家)／伊達吉克(株式会社NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー)／長谷川踏太(Wieden+Kennedy Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

最 優 秀 賞：「Glow of life」 齊藤まゆみ(株式会社テレビ朝日クリエイティブ4d CG デザイナー)「Human beats」 高島夏来(株式会社東北新社 CMディレクター)、河上裕紀(株式会社オムニバス・ジャパン モーショングラフィックスデザイナー)

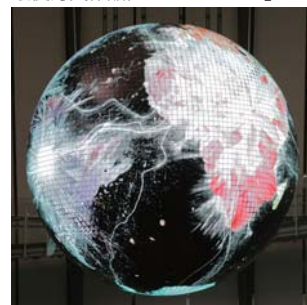
入 選：「アイスサイクルズ～極北の水の循環」 青木美穂(州立アラスカ大学フェアバンクス校美術科 准教授)、梶田亮太(写真家)「Simple」 塚本真理(筑波大学 芸術専門学群生)、津留奏太「Pericynthion」 Clea T. Waite(南カリフォルニア大学PhDフェロー)



Geo-Cosmos Content Contest 受賞者、審査員



Geo-Cosmos Content Contest 最優秀賞作品「Human beats」



Geo-Cosmos Content Contest 最優秀賞作品「Glow of life」



データで見る都市 Sorting out Cities

▶Geo-Cosmosコンテンツ「データで見る都市 ～Sorting out cities」の開発

「都市」をテーマに、オーストリアの芸術団体であるアルスエレクトロニカ・リンツとGeo-Cosmosのコンテンツを共同制作しました。地球上の陸地に都市が占める面積、人口、人々の移動や資源など、都市という複雑な存在のさまざまなデータをユニークなビジュアライゼーションによって描きました。

公開：2014年11月～

■Geoツールを用いたイベントの実施

▶地球合宿2014

IPCC第5次評価報告書が公表されることを踏まえ、「地球環境における都市の変化」をテーマに開催。参加者と科学者がともにデータから変化を読み解くイベントや、参加者が自分自身と地球生命、地球環境とのつながりを考えるイベント、音楽イベントなど、9つのイベントを行いました。

期 間：2014年9月27日(土)～11月24日(月・祝) 参加者：のべ3,118人

▶Bloomberg L.P. とのタイアップイベント

Bloomberg L.P.社員とその家族向けのイベント(Summer Picnic TOK '2014)でGeo ツールを用いて、つながりプロジェクトの活動を紹介しました。

実施日：2014年9月27日(土) 参加者：120人

「つながり」プロジェクト：

シンボル展示「Geo-Cosmos」を中心に、「Geo-Scope」「Geo-Palette」の3つのツールを連動させて、さまざまな視点から地球にアプローチするプロジェクトです。今の地球、今の自分についての「知」を深め、未来のビジョンをともに作りあげることを目指しています。

Geo-Cosmos (ジオ・コスモス)：

1階から6階までの吹き抜け空間(シンボルゾーン)に浮かぶ直径約6メートルの巨大な「地球ディスプレイ」。表面には、次世代の発光デバイスとして注目を集める有機ELパネル10,362枚が貼り込まれ、1,000万画素を超える高解像度で、宇宙空間に輝く地球の姿をリアルに映し出します。

Geo-Scope (ジオ・スコープ)：

国内外の科学者や研究機関から集めたさまざまな地球観測データへ自由にアクセスできる、インタラクティブボード。

Geo-Palette (ジオ・パレット)：

世界の国々や地域に関する多様な情報をもとに、オリジナルの世界地図を描くことができるオンラインサービス。

(敬称略)

1. 科学を伝える 常設展 ①

■「アンドロイド 一人間って、なんだ？」

アンドロイドとは見かけも動きも人間に酷似したロボットのことです。子ども型アンドロイド「コドモロイド®」と成人女性型アンドロイド「オトナロイド®」、人間の特徴を極限までそぎ落としてデザインした「テレノイド®」の3体のアンドロイドを通して、アンドロイドが人間と同じように話し生活できるようになる未来社会を想像し、「人間らしさとは何か」を問いかける展示をつくりました。

※本展示はJST戦略的創造研究推進事業(CREST)研究領域「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」における研究課題「人の存在を伝達する携帯型遠隔操作アンドロイドの研究開発」の一環として実施しました。

展示公開：2014年6月～

エ リ ア：3階 未来をつくる

監 修：石黒浩(株式会社国際電気通信基礎技術研究所 石黒浩特別研究所 所長[客員]、大阪大学 特別教授)

詳 細：<http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/future/robot/android.html>



アンドロイド 一人間って、なんだ？

■「“おや？”っこひろば」

ワークショップや体験型の展示をとおして、「おや？」と不思議に思うことを自ら発見し、その解決方法を自由に発想・試行錯誤することで楽しみながら、科学的な「モノの見方」を親子で一緒に体験することを目的にしたスペースを新設しました。

展示公開：2014年6月～

エ リ ア：3階 無料ゾーン

監 修：塩瀬隆之(京都大学総合博物館 准教授)

西田佳史(独立行政法人 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター)

倉田新(東京都市大学 人間科学部児童学科)

詳 細：<http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/kids/>



“おや？”っこひろば

■メディアラボ第13期展示「1たす1が2じゃない世界ー数理モデルのすすめ」

JST最先端科学研究プログラムFIRSTのひとつ、「合原最先端数理モデルプロジェクト」の研究内容を取り上げ、「社会とのつながりの中の数学」、「研究者がどのような研究手法(=数理モデル)で実社会や生物の真理に挑んでいるか」という視点を体験する展覧会を開催しました。

会 期：2014年2月19日(水)～9月1日(月)

展示エリア：3階 未来をつくる

出 展 者：合原一幸(東京大学 生産技術研究所 教授、同最先端数理モデル連携研究センター センター長、東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授、東京大学大学院 工学系研究科 教授、FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクト(最先端研究開発支援プログラム「複雑系数理モデル学の基礎理論構築とその分野横断的科学技术応用」)研究代表者)



メディアラボ第13期展示
「1たす1が2じゃない世界
ー数理モデルのすすめ」

■メディアラボ第14期展示「まず！ふれてみよーテニトルセカイ ツナグミライー」

見て聞くだけでなく、手でさわり、全身で体感できるような、未来の体験型情報メディアの創造に向けた研究活動を紹介しました。人が自然環境にいるのと同じ感覚で振る舞うことができる、「さわれる情報環境」がもたらす未来を、感じとっていただきました。

会 期：2014年10月22日(水)～2015年6月15日(月)

展示エリア：3階 未来をつくる

出 展 者：舘暉(東京大学 名誉教授、慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 特別招聘教授、国際VR研究センター長、独立行政法人 科学技術振興機構 CREST「さわれる人間調和型情報環境の構築と活用」研究代表者)



メディアラボ第14期展示
「まず！ふれてみよー
ーテニトルセカイ ツナグミライー」

▶テレグジスタンスロボット「テレサ V」を使った実演

講 師：チャリス・フェルナンド(慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 特任助教)

参加者数：のべ245人(計7回)

(敬称略)

1. 科学を伝える 常設展 ②

■「細胞たち研究開発中」

生命の基本単位として細胞に焦点をあて、細胞の原理がどのように再生医療につながっているのかを紹介するとともに、現実味を帯びてきたiPS細胞などの幹細胞による再生医療について、自分自身の問題として考えるきっかけを提供しています。細胞の仕組みだけでなく、発生の様子や3種類の幹細胞(体性幹細胞、ES細胞、iPS細胞)も見ることができます。

展示公開：2015年3月～

総合監修：浅島誠(日本学術振興会 理事、東京大学 名誉教授、独立行政法人 産業技術総合研究所 名誉フェロー)

名誉監修：山中伸弥(京都大学iPS細胞研究所[CiRA] 教授)

監 修：京都大学iPS細胞研究所[CiRA]

詳細：http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/world/life/cells.html



細胞たち研究開発中

■「OPINION BANK(オピニオン・バンク)」

先端研究分野における社会的・倫理的課題やさまざまなリスクなど、絶えずテーマを変えながら来館者に問いを投げかけ、その問いについて来館者が意見を発信するコーナー。ここで集められた来館者の声は、研究者や社会の仕組みづくりに関わる人たちにも届けられます。

展示公開：2015年3月～

協力：独立行政法人 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター

ニュース提供：独立行政法人 科学技術振興機構 サイエンスポータル

オープニング設問協力：一般社団法人 日本再生医療学会、一般社団法人 日本リスク研究学会

詳細：http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/world/life/cells.html



OPINION BANK(オピニオン・バンク)

(敬称略)

1. 科学を伝える 企画展示 ①

先端科学技術が社会にもたらす世界像に焦点をあて、多くの外部機関と連携しながら、さまざまな表現手段やコミュニケーション手法を用いた企画展を行っています。

■企画展「THE 世界一展～極める日本！モノづくり～」

精巧で緻密、そしておもてなしの精神に富んだ日本の「モノづくり」と、その歴史的・文化的背景に焦点をあてる企画展。会場には、世界でオンリーワン・ナンバーワンの価値をもつ200点以上もの製品・技術が一堂に会しました。(来場者数：130,121人)

会 期：2013年12月7日(土)～2014年5月6日(火・祝)

会 場：1階 企画展示ゾーンb

主催・企画・制作：日本科学未来館

協 力：株式会社ダイヤモンド社

総合監修：鈴木一義(国立科学博物館)

特別後援：株式会社 日本経済新聞社

監修協力：地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター、株式会社三菱総合研究所

後 援：日本化学繊維協会、日本化粧品工業連合会、一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会、一般社団法人 日本食品機械工業会、一般社団法人 日本電機工業会、公益社団法人 日本包装技術協会、MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)

企画協力：一般社団法人 ナレッジキャピタル

特別後援：株式会社 日本経済新聞社

後 援：文部科学省、経済産業省、外務省、独立行政法人 情報通信研究機構

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp/sp/sekai1/>



企画展「THE 世界一展
～極める日本！モノづくり～」

▶関連イベント

- ・科学コミュニケーターによる「THE世界一展」ツアー

実施日：2014年3月1日(土)～4月20日(日)の土日祝

参加者：265人(26日間)

- ・Geo-Cosmos実演「匠の心を訪ねて」

実施日：2014年3月1日(土)～5月6日(火)の土日祝 11:15～11:25、14:15～14:25

参加者：7200人(23日間)

- ・夢をかなえるモノづくり～パラリンピックと日本の技術

義足の展示と写真展

実施日：2014年3月5日(水)～4月7日(月)

会 場：1階 インフォメーションロビー

主 催：日本科学未来館、中外製薬株式会社

協 力：株式会社今仙技術研究所、公益財団法人 鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター、東京大学 山中俊治研究室、越智貴雄(写真家)、ヘルスエンジェルス、NPO法人 Happy Japan Project

後 援：公益財団法人 日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

来場者：10,044人

トークイベント「ユニバーサルな社会を目指す、目と手」

実施日：2014年4月6日(日)

講 師：白井二美男(義肢装具士)、越智貴雄(写真家)、山中俊治(プロダクト・デザイナー)

義足パフォーマー：鈴木徹(プーマジャパン株式会社所属 陸上選手/ハンドボール部監督)、村上清加(リコージャパン株式会社所属)、小林久枝(ヘルスエンジェルス所属)

参加者：132人

- ・技術保持者に直接学ぶ、世界一の製鉄技術～古代たたら操業体験

実施日：2014年4月5日(土)、6日(日)

たたら操業指導：国選定保存技術保持者 日刀保たたら村下・木原明

会 場：日本科学未来館 屋外

協 力：公益財団法人 日本美術刀剣保存協会、株式会社日立金属安来製作所、奥出雲町

参加者：18人(ニコニコ生放送 視聴者数：52,835人)

- ・あなたの「なるほど！」がオリジナルカードに！～「THE世界一展」特別ツアー

実施日：2014年4月6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日) 11:00～12:15

会 場：1階 企画展示ゾーンb、研究棟4階 苗村研究室

参加者：のべ65人

- ・トークイベント「意外と知らない日本のすごい鉄」

実施日：2014年4月12日(土)

会 場：1階 インフォメーションロビー

講 師：長谷川達也(新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所 棒線部 棒線商品開発 室長)

加賀祐司(新日鐵住金ステンレス株式会社 商品開発部商品技術室 室長)

船川義正(JFEスチール株式会社 スチール研究所 研究企画部 主任部員(部長))

山口徹雄(株式会社神戸製鋼所 鉄鋼事業部門 技術開発センター 厚板開発部 厚板開発室)

ファシリテーター：鈴木一義(国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長)

参加者：85人

- ・トークイベント「モノづくりのみなもと」

実施日：2014年4月29日(火・祝)

会 場：1階 インフォメーションロビー

講 師：第一部「式年遷宮と日本人」茂木貞純(國學院大學 教授、古宮神社宮司)

第二部「技術と伝統を受け継ぐ職人たちの仕事」高見國一(刀工)、佐野末四郎(船大工)

参加者：計220人



技術保持者に直接学ぶ、世界一の製鉄技術～古代たたら操業体験



トークイベント
「意外と知らない日本のすごい鉄」

(敬称略)

1. 科学を伝える 企画展示 ②

■企画展「トイレ？行っトイレ！ボクらのうんちと地球のみらい」

トイレに関わる問題は深刻であるにも関わらず、地球温暖化、エネルギー問題に比べ認知度が高くありません。あらゆる側面で私たちの「生きること」に関わっているこの問題をオープンに、そして愉快地に語り合うことを目的に企画展を開催しました。(来場者数：235,063人)

会 期：2014年7月2日(水)～10月5日(日)

会 場：1階 企画展示ゾーン

主 催：日本科学未来館、フジテレビジョン

特別協賛：株式会社LIXIL

特別後援：産経新聞社、ニッポン放送、TOKYO FM

後 援：文部科学省、外務省、国土交通省、環境省、東京都下水道局、国連開発計画(UNDP)、UNICEF(国連児童基金) 東京事務所、独立行政法人 国際協力機構(JICA)、公益財団法人 日本ユニセフ協会、特定非営利活動法人 日本コンチネンス協会、特定非営利活動法人 日本トイレ研究所、特定非営利活動法人 日本水フォーラム、日本トイレ協会

展示協力：青木雄司、旭化成ケミカルズ株式会社、INAXライブミュージアム(LIXILグループ)、独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、王子ネピア株式会社、大竹久夫(大阪大学)、大田区立郷土博物館、おむつなし育児研究所、花王株式会社、葛飾区郷土と天文の博物館、厚生労働省、小林純子(設計事務所ゴンドラ)、シカゴ東京メディカル株式会社、シキボウ株式会社、清水芳久(京都大学)、社会福祉法人 正吉福祉会世田谷区立きたざわ苑、菅谷公夫(サザンナイトロボトリーLLP)、株式会社スマイル介護機器販売、株式会社セガ、関野勉、丹治保典(東京工業大学)、東京都恩賜上野動物園、東京都環境局、東京都健康安全研究センター、東京都水道局、公益財団法人 東京動物園協会、長野県北信保健福祉事務所、一般財団法人 日本環境衛生センター、公益財団法人 日本下水道協会、特定非営利活動法人 HANDS、PeePoole、福士謙介(東京大学)、船水尚行(北海道大学)、辨野義己(理化学研究所)、村上八千世(アクトウェア研究所)、メタウォーター株式会社、山本香料株式会社、社会福祉法人 友愛福祉会おおわだ保育園、有人宇宙システム株式会社、ユニ・チャーム株式会社(五十音順)

URL：<http://www.miraikan.jst.go.jp/sp/toilet/>



企画展「トイレ？行っトイレ！ボクらのうんちと地球のみらい」



展示会場



展示会場

▶関連イベント

・プレイベント「SAVE THE ちびっこ～みんなの防災ミーティング」

実施日：2014年3月10日(月)

会 場：7階 未来館ホール、会議室1、2、3

協 力：特定非営利活動法人 日本水フォーラム、一般社団法人 stand for mothers、公益社団法人 危機管理協会

参加者：380人

・サイエンス・ミニトーク「小さな生き物が支える腸の世界」、「下水処理、あなたならいくら払う?」、「トイレは人間だけのもの?」

実施日：2014年7月2日(水)～10月5日(日)のうち平日

会 場：企画展示場内エリア2 SC実演スペース

参加者：のべ359人(計19回)

・Geo-Cosmos実演「100億人の地球のトイレ」

実施日：2014年7月2日(水)～10月5日(日)のうち土日祝日及び夏休み期間中

会 場：1階 シンボルゾーン、および3階・5階の常設展エリア内

参加者：のべ27,000人(計116回)

・防災トイレフォーラム2014

実施日：2014年7月5日(土)

会 場：7階 未来館ホール

主 催：特定非営利活動法人 日本トイレ研究所

共 催：日本科学未来館

参加者：150人

(敬称略)

・水の日記念イベント「トイレまつり」

実施日：2014年7月26日(土)、27日(日)

会 場：1階 シンボルゾーン、コミュニケーションロビー

参加者：のべ1,171人

主 催：INAXライブミュージアム(LIXILグループ)、公益財団法人 日本ユニセフ協会、おむつなし育児研究所、特定非営利活動法人 日本コンチネンス協会、特定非営利活動法人 日本トイレ研究所、王子ネピア株式会社、日本科学未来館(一部共催)



水の日記念イベント「トイレまつり」

・サイエンティストトーク「微生物パワー! うんちから下水処理まで」

実施日：2014年7月27日(日)

会 場：1階 コミュニケーションロビー

講 師：丹治保典(東京工業大学大学院 生命理工学研究科 教授)

参加者：81人

・夏休み宿題イベント「トイレの裏側を探ろう!」

実施日：2014年8月9日(土)

会 場：1階 コミュニケーションロビー、3階 実験工房、7階 イノベーションホール

参加者：2,548人

主 催：東京都下水道局、国土交通省、公益社団法人 日本下水道協会、メタウォーター株式会社、下水道広報プラットフォーム(GKP)、日本科学未来館(一部共催)

協 力：独立行政法人 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター Life is Smallプロジェクト



トイレまつり～秋の陣
「動物たちがやってくる!」
～ボクらはうんち製造器!～」

・トイレまつり～秋の陣「動物たちがやってくる!～ボクらはうんち製造器!～」

実施日：2014年9月13日(土)～14日(日)

会 場：1階 エントランス付近(屋外)

協 力：東京コミュニケーションアート専門学校ECO

参加者：のべ85人

・トイレまつり～秋の陣 サイエンティスト・トーク

「うんちからみえるからだのフシギ～腸内細菌とボくら～」

実施日：2014年9月15日(月・祝)

会 場：1階 コミュニケーションロビー

講 師：辨野義己(独立行政法人 理化学研究所イノベーション推進センター 辨野特別研究室)

参加者：124人



トイレまつり～秋の陣
サイエンティスト・トーク
「うんちからみえるからだのフシギ
～腸内細菌とボくら～」

・リアルラボ@虹の下水道館 有明水再生センター～下水のゆくえ～

実施日：2014年8月23日(土)

会 場：虹の下水道館、有明水再生センター

参加者：8人

・トイレから始めるより良い世界 –MDGs達成期限まで500日で何ができるのか

実施日：2014年8月24日(日)

会 場：7階 会議室2

主 催：動く→動かす

協 力：日本科学未来館

参加者：55人

・クローージングイベント サイエンティストトーク

「うんちを肥料に! アフリカから考える未来のトイレ」

実施日：2014年9月23日(火)

会 場：1階 コミュニケーションロビー

講 師：船水尚行(北海道大学 工学研究院工学研究科 教授)

参加者：102人

・トイレの先のじょうかそう(浄化槽)ってなあに? ～微生物がはたらく水の再生工場～

実施日：2014年9月28日(日)

会 場：7階 会議室3

主 催：環境省

協 力：浄化槽の日実行委員会、日本科学未来館

参加者：670人

(敬称略)

1. 科学を伝える 企画展示 ③

■企画展「チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」

展示と体験を通じ、デジタルアート作品の新たな表現が科学技術の新しい見せ方や未来づくり、テクノロジーが切り拓く表現の可能性をもっていることを伝えました。

(来場者数：465,995人 (2014年度来場者数：318,853人))

会 期：2014年11月29日(土)～2015年5月10日(日)

会 場：1階 企画展示ゾーン

主 催：日本科学未来館、チームラボ、日本テレビ放送網、BS日テレ

共 催：ゆりかもめ

協 力：日本マイクロソフト株式会社、株式会社PFU、ソニー株式会社、ぺんてる株式会社、株式会社ニッセン、青山フラワーマーケット、SORRA, Inc.、ウシオライティング株式会社

後 援：文部科学省、TOKYO FM、TOKYO MX、テレビ神奈川、りんかい線

URL: <http://odoru.team-lab.net/>



企画展「チームラボ 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」

▶関連イベント

・未来館でクリスマス

お絵かきクリスマス(専用の紙に描いたサンタクロースが目の前の街にやってくる)

実施日：2014年12月17日(水)～12月25日(木)(12月23日(火・祝)は20:00まで開館)

会 場：1階 コミュニケーションロビー

12月23日限定! チームラボメンバーと巡る企画展ツアー

実施日：2014年12月23日(火・祝)

会 場：企画展会場

担 当：工藤岳(チームラボ ブランドディレクター)

参加者：43人



展示会場「3Dお絵かきタウン」
チームラボ, 2014, インタラクティブ
デジタルインスタレーション

・スペシャルトークイベント「猪子寿之×石黒浩 一僕らの作りたい、未来の人間」

実施日：2014年12月23日(火・祝)

会 場：1階 シンボルゾーン

参加者：380人

・お絵かきふなっしー

期 間：2015年1月2日(金)～1月9日(金)、2015年2月5日(木)～3月1日(日)

会 場：7階 スタジオ

参加者：のべ24,870人

・スペシャルトーク「ウイット・ポンニミット×猪子寿之 一楽しくて、やさしくて、幸せな未来」

実施日：2015年3月28日(土)

会 場：7階 イノベーションホール

登壇者：ウイット・ポンニミット(マンガ家)、猪子寿之(チームラボ 代表)

参加者：150人

・企画展関連イベント「みんなでデジタルアニメーションをつくろう」

実施日：2015年3月25日(水)、26日(木)、27日(金)

会 場：1階 コミュニケーションロビー

参加者：のべ57人



イベント
「みんなでデジタルアニメーションを
つくろう」

(敬称略)

1. 科学を伝える トークセッション・イベントなど ①

その時々、社会のトピックやニーズをつかみ、研究者と連携したイベントや新規実演を行ったり、短期展示として発信する活動を行っています。

■Googleサイエンスフェアin東北2014への協力

2013年にグーグルジャパンが東日本大震災の被災地支援の一環として始めた学生科学コンテスト「Google サイエンスフェアin東北」で、キックオフワークショップの実施、研究発表会の審査に協力しました。

期 間：2014年5月17日(土)、18日(日)、6月28日(土)、29日(日)、7月2日(水)、8月16日(土)

会 場：東北大学片平キャンパス、グーグル株式会社、仙台国際センター

ワークショップ参加者：188人

主 催：グーグル株式会社

パートナー：東北大学

協 力：日本科学未来館、ワイモバイル株式会社

後 援：岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、福島県教育委員会



Googleサイエンスフェアin東北
表彰式

■中秋の名月 未来館でお月見！ 2014

「Geo-Cosmos」が月に変身する昼間の「お月見」、大人向けの月に関する特別実演などを開催しました。

会期：2014年9月1日(土)～8日(月・祝) (9月5日、6日は夜間開館を実施)

会場：1階 シンボルゾーン、常設展示フロア ほか

内容：大人の雅楽演奏会「雅な月夜のしらべ」

大人のサイエンティスト・トーク「月見る人よ、いつ、どこで? ～時代、地域、人それぞれの月見」

Geo-Cosmosへの月画像投影The Moon on Geo-Cosmosおよびお月見ジングル

ASIMO実演「ASIMO on the MOON!!」

サイエンス・ミニトーク「ことしの月見は二度おいしい」

VRシアター「4D2U-中秋の名月」

月の科学情報を解説するパネル展示等



中秋の名月 未来館でお月見! 2014

■障害者週間 2014

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、第一線の研究者やクリエイターと一般の方々をつなぎ、社会のさまざまなバリアフリー化を後押しする活動を行いました。

▶だれでもアスリート運動会

実施日：2014年11月1日(土)

会 場：1階 企画展示ゾーン

共 催：ニコニコ学会β運動会部、日本ブラインドサッカー協会、日本バブルサッカー協会、東京大学
暦本研究室、ソニーコンピュータサイエンス研究所、超人スポーツ委員会

参加者：600人



車椅子バスケット体験会

▶だれでもアスリート ―障害者週間2014

期 間：2014年12月3日(水)～14日(日)

主 催：日本科学未来館、中外製薬株式会社

企画協力：一般社団法人 カンパラプレス、公益財団法人 鉄道弘済会、シアタープロダクツ

協 力：フーマージャパン株式会社、株式会社資生堂、株式会社堀内カラー、株式会社フレームマン、
株式会社 オーエックスエンジニアリング

参加者数：のべ1,150人

■はやぶさ2 宇宙へ！

小惑星探査機「はやぶさ2」などを乗せたH-IIAロケット26号機の打ち上げを見守るイベント、サイエンティスト・トーク、サイエンス・ミニトーク、ミニ展示などを行いました。また、相乗り衛星として打ち上げられる「ARTSAT2」の開発者を招いたサイエンティスト・トークや宇宙機を作るワークショップなども併せて行いました。

期 間：2014年11月15日(土)～12月27日(土)

参加者：のべ892人



はやぶさ2
打ち上げ パブリックビューイング

■未来設計会議 「創られるパートナー ～あなた+ロボット=幸せ？」

「人間とロボットの"つきあい方"」をテーマに、さまざまな立場の人たちと"未来社会の設計図を考える"イベントを行いました。

実施日：2015年3月29日(日)

会 場：7階 未来館ホール

講 師：大槻正(株式会社インタラクティブラボラトリー 顧問、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 フェロー)、林要(ソフトバンクロボティクス株式会社プロダクト本部 PMO 室 室長)、遠藤薫(学習院大学 教授)

参加者：250人(ニコニコ生放送視聴者：750人)

(敬称略)

1. 科学を伝える トークセッション・イベントなど ②

■ ノーベル賞・イグノーベル賞 関連イベント

科学コミュニケーターが受賞者の予想を行うだけでなく、活動拠点「ノーベルスタジオ」を展示場内に設置し、多様な情報発信活動を行いました。

▶サイエンス・ミニトーク「どうなる!?今年のノーベル賞」

期間：2014年9月8日(月)～発表当日 参加者：675人

▶サイエンス・ミニトーク「どうなった!?今年のノーベル賞」

期間：2014年10月8日(水)～19日(日)

会場：5階 世界をさぐる、3階 未来をつくる 参加者：862人

▶ノーベルスタジオ@Miraikan

科学コミュニケーターが予想や受賞内容の解説、来館者からの質問に答える場を作るだけでなく、ノーベル賞発表時の科学コミュニケーターの活動の様子も配信しました。

期間：2014年10月6日(月)～11日(土)

・ニコニコ生放送「ノーベル賞の裏側@Miraikan」

期間：2014年10月6日(月)～8日(水) 視聴者数：3賞合計 67,186(コメント数 26,134件)

▶科学コミュニケーターブログ

期間：2014年9月8日(月)～12月11日(木) 記事：32本 アクセス数：122,255

▶特設サイト(参加型)「ノーベル賞を予想しよう!2014」

期間：2014年9月22日(月)～発表当日 アクセス数：84,787

参加者があげた受賞しそうな科学者：37人 URL:<http://miraikan.jp/nobel2014/index.html>

▶マスメディアを通じた情報発信(科学コミュニケーターの番組出演、取材対応)

取材対応件数：36件(テレビ生放送出演：3件、新聞11件、その他22件)

・フジテレビ「特ダネ」2014年10月8日(水) 田村真理子(科学コミュニケーター)が青色LEDについて解説

・日本テレビ「スッキリ」2014年10月8日(水) 田中健(科学コミュニケーター)が青色LEDについて解説

・NHK「情報まるごと」2014年10月9日(木) 田中健(科学コミュニケーター)が青色LEDについて解説



来館者がシールで投票した受賞者予想パネルを前にNHKの取材を受ける科学コミュニケーター



ノーベル物理学賞発表の翌日に受賞理由を解説するミニトークの様子

■サイエンスアゴラ2014

科学と社会とつながる広場「サイエンスアゴラ2014」で科学コミュニケーターによるプログラムを実施しました。

開催日：2014年11月7日(金)、8日(土)、9日(日)

会場：日本科学未来館、産業技術総合研究所臨海副都心センター、東京都立産業技術研究センター、東京国際交流館、シンボルプラザ有明公園、フジテレビ湾岸スタジオ

主催：独立行政法人 科学技術振興機構

共催：独立行政法人 産業技術総合研究所、地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター、独立行政法人 日本学生支援機構、国際研究交流大学村、東京臨海副都心グループ

参加者：10,142人

▶科学コミュニケーターが実施したプログラム

- ・未来館の研究棟を探検しよう!
- ・ODAIBA Lifestyle 2020～2020年お台場のくらし～
- ・国際共同研究の現場から学ぶ ～地球環境問題と日本の役割～
- ・第3回 求む! 未来の科学者 太陽電池キャラバン

■ニコニコ生放送の活用

来館者のニーズに応えるだけでなく時宜を捉えた情報発信をタイミング良く実施しました。

▶ニコニコ生放送「ノーベル賞の裏側@Miraikan」(3階 実験工房(ノーベルスタジオ@Miraikanを設置))

ノーベル生理学・医学賞 [2014年10月6日(月)] 視聴者：2,064人(コメント数 2,031件)

ノーベル物理学賞 [2014年10月7日(火)] 視聴者数：60,771(コメント数 16,454件)

ノーベル化学賞 [2014年10月8日(水)] 視聴者：4,351人(コメント数 7,649件)

▶誰でもわかる今年のノーベル賞

実施日：2014年10月25日(土) 視聴者数：24,017(コメント数 8,720件)

ゲスト：板倉龍(Newton 編集部)、古田彩(日経サイエンス編集部)

▶【科学解説】エボラ出血熱から身を守る

実施日：2014年11月16日(日) 視聴者数：21,044(コメント数 6,473件)

講師：堀成美(独立行政法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策室)

▶2015年を科学する 注目の科学ニュースを予告!

実施日：2015年1月16日(金) 視聴者数：970人(コメント数 2,003件)

▶知っておきたい! 海外感染症事情

実施日：2015年3月20日(金) 視聴者数：664人(コメント数 856件)

講師：堀成美(独立行政法人 国立国際医療研究センター 国際感染症対策室)



ノーベルスタジオからニコニコ生放送(ノーベル生理学・医学賞)を中継



ニコニコ生放送(ノーベル物理学賞)

(敬称略)

サイエンティスト・トーク

来館者と研究者との双方向コミュニケーションや、科学技術と自分とのかかわりや未来社会について考える場を作り、最新の科学技術情報を発信することなどを目的として、以下の活動を行いました。(敬称略)

タイトル	開催日	場 所	講 師	参加者
南十字星の空に巨大望遠鏡を向けて-オーストラリア天文学者が語る宇宙のすがた	2014年4月26日 (土)	1階 コミュニケーションロビー	ブライアン・シュミット(オーストラリア国立大学 名誉教授)、ブライアン・ボイル(オーストラリア・スクエア・キロメートル・アレイ(SKA)オフィスのディレクター)	240人
1億度のプラズマを閉じ込めろ！地上に太陽をつくる核融合研究の最前線	2014年5月3日 (土・祝)	3階 実験工房	竹内康彦(大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 核融合科学研究所 教授)	120人
だいち2号、宇宙へ！	2014年5月24日	1階 コミュニケーションロビー	岩本裕之氏(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 第一衛星利用ミッション本部衛星利用推進センター ミッション企画室 室長)	400人
植物との付き合い方ー自家不和合性のしくみから見える遺伝的多様性の大切さー	2014年6月7日 (土)	3階 実験工房	高山誠司(奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 細胞間情報学研究室 教授)	35人 (ニコニコ生放送 視聴者 2,600人)
井戸端会議を科学する！	2014年6月14日 (土)	1階 コミュニケーションロビー	坊農真弓(大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授)	50人
ウルリッヒ・ヴァルター宇宙飛行士が語る地球外フロンティア	2014年7月13日 (日)	1階 コミュニケーションロビー	ウルリッヒ・ヴァルター(宇宙飛行士)	200人
1たす1が2じゃない世界(第13期メディアラボ関連イベント)	2014年7月19日 (土)	3階 実験工房	合原一幸(東京大学 生産技術研究所 教授/同最先端数理モデル連携研究センター センター長/東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授/東京大学大学院工学系研究科 教授)	58人
数理モデリングで感染症の広がりを防げ！-数理モデル大実験-(第13期メディアラボ関連イベント)	2014年7月20日 (日)	3階 実験工房	占部千由(東京大学 生産技術研究所 特任助教)	66人
微生物パワー！うちから下水処理まで	2014年7月27日 (日)	1階 コミュニケーションロビー	丹治保典(東京工業大学大学院 生命理工学研究科 教授)	81人
女性100人に1人！意外と知らない「早発閉経」～私と、家族のために、今知っておきたいこと～	2014年8月2日 (土)	1階 コミュニケーションロビー	河村和弘(聖マリアンナ医科大学病院 生殖医療センター長)	63人
テクノロジーで魔法の世界を実現する！？～デバイスアートを生み出す2人の研究者～	2014年8月3日 (日)	3階 “おや？”っこひろば	岩田洋夫(筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授)、八谷和彦(東京藝術大学 先端芸術表現科 准教授/アーティスト)	60人
宇宙と地球と人の『和』と ～若田飛行士から未来のきみへ～	2014年8月21日 (木)	1階 コミュニケーションロビー	若田光一(宇宙飛行士)	424人
ゴムに秘密あり～身の回りで活躍するゴム	2014年8月23日 (土)	1階 コミュニケーションロビー	前田朋子(住友ゴム工業株式会社 材料開発本部)	130人
月見る人よ、いつ、どこで？～時代、地域、人それぞれの月見～	2014年9月6日 (土)	1階 コミュニケーションロビー	嘉数次人(大阪市立科学館 主任学芸員)	270人
うちからみえるからだのフシギ ～腸内細菌とボくら～	2014年9月15日 (月・祝)	1階 コミュニケーションロビー	辨野義己(独立行政法人 理化学研究所 イノベーション推進センター 特別招聘研究員)	124人
うちを肥料に！アフリカから考える未来のトイレ	2014年9月23日 (火・祝)	1階 コミュニケーションロビー	船水尚行(北海道大学 工学研究院工学研究科 教授)	102人
火星探査機到着なるか?! ー大気が明かす未来の地球	2014年9月27日 (土)	1階 コミュニケーションロビー	吉川一朗(東京大学大学院 理学系研究科地球惑星科学専攻 准教授)	121人
はやぶさ2、宇宙へ！	2014年11月30日 (日)	1階 コミュニケーションロビー	布施哲治(独立行政法人 情報通信研究機構 鹿島宇宙技術センター 主任研究員、電気通信大学大学院 情報メディアシステム学専攻 客員准教授)	124人
有孔虫は教えてくれるー生命の不思議と地球の不思議	2014年12月14日 (日)	1階 コミュニケーションロビー	北里洋(独立行政法人 海洋研究開発機構 上席研究員)	120人
ARTSAT2 宇宙で詩を詠む宇宙船	2014年12月20日 (月・祝)	7階 イノベーションホール	久保田晃弘(多摩美術大学 情報デザイン学科 教授)	30人
地球外生命を探してー太陽系の“三大名所”をめぐる科学の旅	2015年1月11日 (日)	1階 インフォメーションロビー	関根康人(東京大学大学院 理学系研究科地球惑星科学専攻 准教授)	216人
原発のごみ、日本に埋める場所ありますか？ー高レベル放射性廃棄物の地層処分	2015年1月17日 (土)	3階 実験工房	吉田英一(名古屋大学 博物館資料分析系 教授、大学院環境科学研究科兼任)	60人 (ニコニコ生放送視聴者 686人、コメント数 794)
宇宙誕生の光をとらえるー10のマイナス36乗秒後の世界を目指して	2015年2月28日 (土)	3階 実験工房	羽澄昌史(大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授 兼 東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 特任教授)	95人
『空飛ぶ車』で未来をデザインする男	2015年3月1日 (日)	7階 イノベーションホール	ステファン・クライン(AeroMobil社共同創設者・最高技術責任者(CTO)・チーフデザイナー)	65人
カイコが起こす蚕業革命！遺伝子組換えカイコがつむぐ未来	2015年3月14日 (土)	3階 実験工房	富田秀一郎(独立行政法人 生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究開発ユニット リーダー)	70人
"ふれる"をつたえるーバーチャルリアリティとテレビグジスタンスの世界	2015年3月15日 (日)	7階 イノベーションホール	舘璋(慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授)	85人 (Ustream視聴数 109)

1. 科学を伝える メディア制作・活用

■科学コミュニケーターブログ

科学コミュニケーターによる情報発信ツールの一つとして2011年6月に開設し、ブログならではの即時性を活かし、タイミングを重視した情報発信を行っています。

URL: <http://blog.miraikan.jst.go.jp/>

▶ ページビュー数：1,108,015(2014年度合計)

▶ 2014年度のブログ記事掲載数：181件

【時宜を捉えた記事(一部抜粋)】

STAP騒動で私が感じた「感覚の違い」(志水正敏/2014年4月11日(金))

エボラ出血熱って何？まずは情報あつめから(樋江井哲郎/2014年8月12日(火))

高熱が急に...風邪？デング熱？家にある解熱薬は飲まないで！(新山加菜美/2014年9月22日(月))

原始重力波のメッセージの正体は「ノイズ」かもしれない(福田大展/2014年9月24日(水))

御嶽山の噴火～予知の難しさ(佐竹渉/2014年10月3日(金))

宇宙に浮かぶ、「ロゼッタストーン」を読み解け！(本田隆行/2014年11月18日(火))



科学コミュニケーターブログ

■Twitter@Miraikan

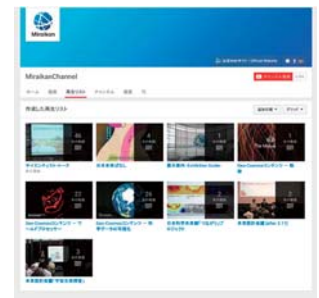
科学トピック、注目の展示やイベント情報などを発信しています。

URL: <https://twitter.com/miraikan>

▶ 2014年度 Tweet数：857、Follower数：27,020(2015年3月末)

■戦略的創造研究推進事業 総括実施型研究(ERATO)の研究紹介映像「日本未来ばなし」の制作・公開

- ・「インフルエンザと谷風」(協力：河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト)
 - ・「フィルズハウス」(協力：染谷生体調和エレクトロニクスプロジェクト)
 - ・「鼻刑事(ハナデカ)」(協力：岩田ヒト膜受容体構造プロジェクト)
 - ・1,000万分の1ミリでタンパク質をとらえる！(協力：岩田ヒト膜受容体構造プロジェクト)
- 演出：土居誠史(有限会社 デンバク ファノ デザイン)



Miraikan Channel トップページ

■公式Facebook

未来館の展示、イベント、お知らせなど、さまざまな角度から未来館に関する情報を発信しています。

URL: <https://www.facebook.com/miraikan.jp>

(敬称略)